

『牛乳パックの竹トンボ』

6月29日 牛乳パックとストローで竹トンボ（紙トンボ）を作りました。

当初、男性スタッフは竹材を使用した竹トンボを作ろうと考え試作をしましたが、年少児童の小刀の使用は、難しく危険との判断から急きょ変更しました。

スタッフが事前に、幅1.7センチ長さ約16センチにカットした牛乳パック片を用意し、子ども達は①ストローを蛇腹の下で切る②ストローの先をタテ1.5センチほど切る③切った牛乳パックを半分折ってストローの切り込みに差し込み、ホッチキスでとめる④ホッチキスの針が危なくないようセロテープを巻きつける⑤セロテープで貼った部分をナナメ下に折る⑥裏返し同じ角度でナナメ下に折る⑦羽を広げる⑧羽に絵を描くの一連の作業を行い、紙パック竹トンボの完成です。



子ども達は各々2～3個作り飛ばして遊び始めました。途中で男性スタッフがフラフープのゴールを用意したため、その輪を目標にし興じていました。



日頃は、室内での運動は禁止ですが、今日は雨模様でもあり、校庭は補修工事中で使用できないため運動を許しました。過去のゲームで使用した風船の余りもあったため、子ども達に渡しました。子ども達は、風船を膨らませ、フラフープゴールを目指して、バスケットボール競技最高峰のNBAウイザーズ八村塁選手のプレーを想像しつつシュート練習(?)、バレーボールのサーブもどきを行い楽しんでいました。